



プラグコードを銅線を残して被覆をむきます。



うまく銅線を残して被覆部分のみ切り込みを入れていきます。



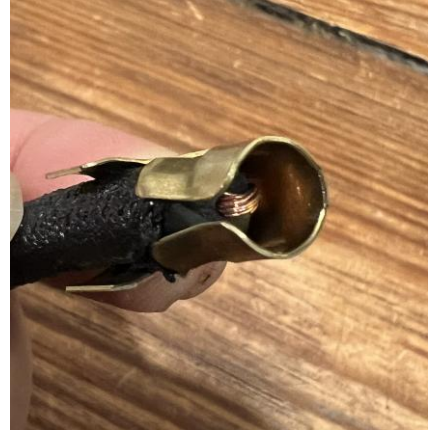
切り込みを入れたら被覆部分を引き抜き銅線を露出状態にします。



先にブーツにケーブルを通しておきます。



端子の金属部分にコードの銅線を接して圧着するため折り返します。



コードを端子に差し込んで位置を決めます。



プラグコードがカシメられる電光ペンチ（弊社でも販売しています）で端子をカシメます。



カシメたらブーツを端子側によせます。



コイルに端子がしっかりと差し込みできる位置にブーツの位置を調整して完了です。